

SPECIAL LECTURE

日時 10月17日（土）
14：20～15：10

時間帯につきましては変更となる可能性があります



共に考える精神科作業療法の これまでとこれから

精神科医療を取り巻く環境は大きく変化し、対象者が抱える課題も多様化・複雑化しています。本講演では、精神科作業療法のこれまでの歩みを振り返りながら、生活や対人関係、社会参加を見据えた作業療法の役割について、実践経験を交えてお話しいただきます。

また、精神科作業療法士が現在直面している課題や、今後求められる視点・役割について整理するとともに、多職種や地域との連携の重要性についても考えます。精神科領域に携わる作業療法士はもちろん、さまざまな領域で実践する作業療法士にとって、自身の専門性を見つめ直し、これからの実践を考える機会となる内容です。

※上記文章は講師の抄録を元に実行委員が作成しています。



岸
雪枝
氏

【所属】

兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部 次長

【資格】

2006年 神戸大学保健学部保健学修士号 取得

2021年 公認心理師 取得

【社会貢献】

LAHPE研究会 共同代表

日本うつ病作業療法研究会 副会長

【略歴】

1994年 京都大学医療技術短期大学部作業療法学科 卒業

1994年 医療法人聖志会 泉州病院（現 渡辺病院）入職

1998年 大阪府立看護大学医療技術短期大学部 入職

2005年 大阪府立大学（現 大阪公立大学）総合リハビリテーション学部へ改編

2006年 神戸大学大学院医学系研究科博士前期課程 修了

2006年 兵庫医科大学病院 入職